

家や畑の周り

側溝は詰まっていますませんか？

6月を迎え、いよいよ本格的な梅雨の時期となりました。皆さんの畑や家の周りの道や側溝は詰まっていますませんか？

道路に物が置いてあったり、側溝が詰まっていると、雨の多いこの時期、おもわぬ災害に発展するおそれがあります。

■まずは点検・清掃を

まとまった雨が降るこの季節、雨水が氾濫し道路に流れている…。

こんな事が起こる前に、まずは身の周りの道路を点検し、側溝などの状況を確認することが大切です。

また、畑の側溝が詰まっていると、雨水の逃げ道がなくなり、畑が流されるなどの災害が起きやすくなるため、普段からの清掃がかかせません。

特に注意が必要なのは、赤城西麓土地改良事業で整備された道路です。

この道路のほとんどは水路を兼ねているため、道路に畑の土砂が出ていると、雨水などと混じり、下流の側溝に流れ込んで詰まりの原因となります。

他の耕作者や道路利用者に迷惑がかかってしまうおそれがあります。

そうなってしまう前に、道路や側溝の状況を確認し、畑から出た土砂などは、きちんと片づけるようにしましょう。

■畑にゴミをおかないで

側溝を詰まらせるのは土砂だけではありません。畑や道路に置かれたゴミが側溝に流れ込んで詰まりの原因になることがよくあります。

特に注意が必要なのが、道路脇やガードレールに置かれた、廃マルチなどです。

もし、集中的な雨が降り、これらが道路や側溝に流れ込むと、思わぬ災害を引き起こしたり、災害を大きくしたりしてしまっておそれがあります。

廃マルチはJAなどで行う回収により適正に処理し、道路脇やガードレールに置かないようご協力をお願いします。

■ご協力をおねがいします

村では、道路状況などを確認し、清掃を行なっています。が、全ての道路・側溝を清掃する事はできません。

道路の点検清掃は皆さん一人ひとりの協力をいただくことが不可欠なのです。

災害が起こってしまう前に、周りの道路の状況を確認し、側溝の掃除や道路沿いに物を置かないなど、ご協力をお願いします。

もし、個人で手に負えない場合には、各区の区長さん・班長さんと相談し、各地区で清掃をお願いします。

日本脳炎

予防接種のお知らせ

厚生労働省から平成17年

5月30日付けで発表された、「定期の予防接種における日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨の差し控えについて」の勧告に伴い、昭和

村では日本脳炎の予防接種の勧奨を見合わせてます。

このたび、平成21年6月2日付けで新ワクチンとして「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」が、第1期予防接種に使用するワクチンとして位置づけられました。

しかし、厚生労働省の指示のもと、有効性・安全性が確立されるまで、引き続き積極的な勧奨はいたしません。

村では次の措置を引き続き行います。

①第1期（3〜4歳）、第2期（小学校4年生）は当面の間、接種を見合わせます。

②日本脳炎の流行地域に出かける予定があるなど、感染の恐れが高い場合において、個別での接種は医師と相談のうえ可能です。（※ただし、効果および副作用について医師からよく説明を受けてください）

未接種の方に対しては、新ワクチンの供給体制が整った後、再開する見込みです。

詳しくは、役場保健福祉課健康係までお問い合わせください。

☎24-51111（内線26）



せます。

②日本脳炎の流行地域に出かける予定があるなど、感染の恐れが高い場合において、個別での接種は医師と相談のうえ可能です。（※ただし、効果および副作用について医師からよく説明を受けてください）

未接種の方に対しては、新ワクチンの供給体制が整った後、再開する見込みです。

詳しくは、役場保健福祉課健康係までお問い合わせください。☎24-51111（内線26）